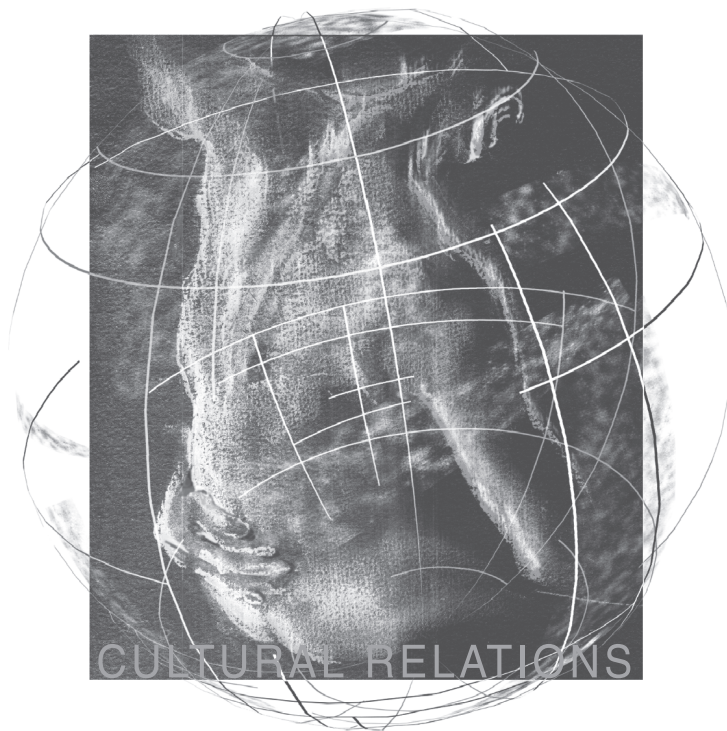


ISSN 1880-7100

文化交流研究

2024年 第19号



文化交流研究会

文化交流研究

2024年 第19号

筑波大学文化交流研究会

目次

〔論文〕

Aro/Ace 作品の表象と受容につきまとう困難と可能性
——日本の状況と照らして

井村 麗奈 1

ミシェル・フーコーの思想における「私たち」の哲学的位置づけとその意義

篠田 拓久 21

無限の憧憬における苦痛の問題

——ヘーゲル『初期神学論集』における「苦痛」の観念とジョルジュ・バタイユ『内的体験』

梁 安吉子 35

研究会活動報告

..... 57

研究会発表要旨

飯沼 天空 59

Contents

[Articles]

Reception and Representation of Aro/Ace Works Difficulties and Possibilities: Considering the Japanese Situation	Reina IMURA	1
La situation et la signification philosophique du «nous» chez Michel Foucault	Hirohisa SHINODA	21
Le problème de la douleur dans l'aspiration à l'infini: L'idée de "souffrance" dans les écrits théologiques du jeune Hegel et dans <i>L'expérience intérieure</i> de Georges Bataille	Akiko RYO	35
Report on Group Activities	57
Abstracts of Group Presentations	Tsubasa IINUMA	59

『文化交流研究』刊行規定

1. 投稿資格は原則として文化交流研究会会員とする。ただし、非会員にも例外的に寄稿を求めることがある。
2. 原稿は未刊行のものとする。
3. 原稿の執筆に当たっては、別に定める「執筆要綱」に従うものとする。
4. 本誌は原則として年 1 回刊行する。投稿者は指定期日までに投稿希望届を提出し、締め切り日までに原稿を提出しなければならない。
5. 提出された原稿の採用は、刊行委員会が委嘱する専門家による査読を経た上で、刊行委員会が決定する。
6. 採録が決定したら、執筆者は印刷原稿の作成におのおの責任を持つ。印刷原稿の作成に当たっては、刊行委員会の指示に従うものとする。
7. 採録決定者は、本誌刊行にかかる費用のうち、本会が請求する金額を支払う。
8. 採録された論文等の著作権は著者と本会の共有とする。
9. 上記以外の編集に関わる問題が生じたときは、刊行委員会が個別に対応する。

『文化交流研究』執筆要項（2023年度）

- 内 容：文化交流に関する論文、研究ノート、書評、文化交流研究会の諸活動(研究会や講演会)のレジюме、文化交流論・現代文化分野・現代文化学サブプログラムの修士論文・博士論文のタイトルなど。
- 枚 数：和文の場合は原則として Word 形式で 10~20 枚程度、外国語の場合は同程度。ともに資料・図版・注・参考文献はこの枚数内に収めるものとする。
- 書 式：原稿は原則としてパソコン入力による横書き印刷原稿とする
A5（和文の場合は 37 字×34 行、外国語の場合は 34 字×34 行）。
余白（和文、外国語ともに上下左右全て 20mm）。
和文の場合は外国語による要旨とタイトルを付す。外国語の場合は和文の要旨を付す。注は文末注とする。
- 執筆申込：刊行委員会による投稿希望届に必要な事項（タイトル、使用言語等）を記入し、メールまたは郵送にて提出する。
締切 2023 年 8 月 25 日（金）
申込先 ①郵送
〒305-8571 茨城県つくば市天王台 1-1-1 筑波大学
人文社会科学研究所 現代語・現代文化専攻事務室気付
文化交流研究会
②メール
bunkakoryuron@gmail.com
- 原稿送付：完成原稿の電子ファイルをメールにて編集係まで送付する。あるいは USB メモリ、CD-R 等を添え、郵送または直接下記宛先に提出する。
締切 2023 年 11 月 20 日（月）
締切日を過ぎて提出された原稿は受け付けない。
宛先 ①郵送
〒305-8571 茨城県つくば市天王台 1-1-1 筑波大学
人文社会科学研究所 現代語・現代文化専攻事務室気付
文化交流研究会
②メール
bunkakoryuron@gmail.com
- 校 正：原稿執筆者による校正は、原則として第 2 校までとする。
- 発 行：2024 年 2 月上旬予定

編集後記

『文化交流研究』第19号をお届けいたします。本号には、投稿論文3本、研究会報告1件、研究発表要旨1本を掲載しました。ここ数年はコロナ禍により、本誌の編集会議もオンラインで行われておりましたが、今年は対面で行うことができました。私が修士課程に入学した2021年に比べると、院生室がとても賑やかになり、先生方や事務の方々との対面でお話する機会も増え、とても嬉しいです。

また、私事ですが、今年の9月に4年ぶりにイギリスを訪れることができました。10日間の滞在中、ロンドン、リバプール、ヨークの美術館を訪れ、テート・ブリテンと大英博物館では収蔵庫にある画家の習作も見せていただき、充実した研究調査となりました。基本的には1人で行動していましたが、現地での面白い出会いもありました。例えば、現在は博物館となっている画家フレデリック・レイトンのスタジオに行くために訪れたホランド・パークでは、イギリス人のおじいさんに話しかけられ、仲良くなり、オレンジジュースをいただきました。また、疲れて寄ったチャリング・クロス駅近くのマクドナルドでは、相席になった中国人の留学生と日本のドラマのことで話が弾み、後日ピカデリー・サーカスのチャイニーズ・レストランで夜ご飯をご一緒しました。

少しでも時間と場所がずれば一生出会うことのなかったであろう人たちとつながるといえるのは、不思議なものです。私は人の運に恵まれているほうではありますが、気づかぬうちに会える機会を逃している人たちがたくさんいるのだらうと思うと、少し切ない気持ちになります。大学院の同期も、先輩も、後輩も、先生や事務の方々も、自分が生まれる時期や入学する時期が数年違っていたら出会えなかったのかもしれない、と考えると感慨深いです。

最後に、論文や発表要旨を投稿してくださった皆さま、本誌をより良いものにするためご協力いただいた編集委員各位、投稿論文の査読についてご協力いただきました学内の先生方に心より感謝申し上げます。（梶間）

文化交流研究 第19号

2024年 2月 9日 発行

編集・発行

筑波大学 文化交流研究会

〒305-8571

つくば市天王台1-1-1

筑波大学 人文社会科学部

現代語・現代文化専攻 現代文化分野

人文社会科学部 人文学学位プログラム・現代文化学サブプログラム

bunkakoryuron@gmail.com

編集長 梶間里奈

編集委員 梁安吉子、Enkhbayar Nominerdene、

井村麗奈、謝啓仁、邢恩愷、松岡利宮、周路陽

表紙デザイン 藤本玲

印刷・製本

株式会社イセブ

〒305-0005

つくば市天久保2-11-20

電話 029 (851) 2515